



親子で読書習慣づくり ～読書感想文が楽しくなる!!～



日 時：令和6年7月20日（土）10時～12時

場 所：嘉川地域交流センター

講 師：前田 真奈美 氏（下関市立本村小学校校長）

受講生：小学生親子13組（大人13人小学生16人）

親子で一緒に作り上げる読書感想文の書き方や、表現を豊かにする方法を教えてくださいました。親子で同じ講座に参加することで共通の話題もでき、家庭での読書の習慣作りにもなったのではないのでしょうか。先生のエプロンシアターや、軽快なブックトークで、読書の魅力をしっかり伝えていただきました。

1 ソウにまつわる・・・

エプロンシアター

「ゾウの鼻はなぜ長い？」（知りたがり屋のゾウの話）

読み聞かせ

「ゾウの長い鼻にはおどろきのわけがある！（動物ふしぎ発見）」：くもん出版

「総合学習に役立つ 世界のじゃんけん（大人と子どもの遊びの教科書）」：今人舎

※人はアリに勝ち、ゾウは人に勝ち、アリはゾウに勝つ?! ゾウが登場するじゃんけんが世界にはある!!



身近な話題の本だと、読書感想文が書きやすい

2 ブックトーク

☆「成瀬は天下を取りにいく」著/宮島未奈：新潮社（2024 本屋大賞）



読むと京都大学に入りたくなる?!

（小学校高学年から）

☆「汝、星の如く」著/凧良ゆう：講談社



大人が今求めているもの「キュン」



親子や友達とブックコミュニケーション・・・本を読んで、推しポイントを語り合う

◎本当に読書は学力向上につながる？！



家にある本が多い児童ほど教科の平均正答率が高い傾向がある



おすすめ図書「読書がたくましい脳をつくる」

著／川島隆太：くもん出版

- ・読書と学力の科学的エビデンスとなる 1 冊！
- ・読書で成績が良くなる理由が科学的に証明されている
- ・スマホの習慣と成績の関係についても書かれている



3 読書の自立のために

1つの川と2つの山を越えなければならない

1つめの川(小学校低学年まで)

話し言葉 ≠ 書き言葉

読み聞かせ = 書き言葉を耳から入れる

↓

文章を読む能力が高くなる



読み聞かせは大切！！



図書館が
好き

本屋さん
が好き



1つめの山(小学校高学年)

自分から読む

- ・楽しい本……作者やシリーズへの興味
- ・『ロリ』(小学校低学年に大人気のかいけつ『ロリ』の壁
『ロリ』の面白さでは満足できなくなる
- ・この作者が書くほかの本を読んでみたくなる
- ・自分から進んで読む本を楽しむ

読書は子ども一人のものではなく

親子で読書を通してのコミュニケーションを！

親も一緒に楽しもう！

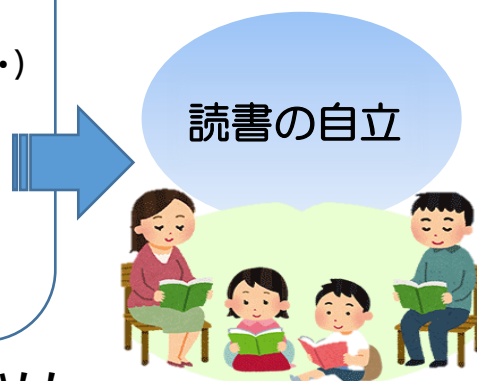
小学校までにこの一つの川と一つの山を越えると・・・

2つ目の山(中学生高校生) 考えるために読む山

本から離れてしまう時期がやってくる(部活動、受験、スマホ・・・)

これを越えるためには

家庭・友達・共通の趣味を持った仲間など
読書を通して
他者とのコミュニケーションをとりましょう



※考えるために読む山・・・越えるのは大人になってからでも遅くはない!!

読書感想文を書くコツ

1.本を選ぶ

- ①題名で面白そうだと感じたものを選ぶ
- ②1～2ページ立ち読みしてから、面白そうだと感じたものを選ぶ

重要 自分が面白いと思う本」を選ぶ

「読みやすさ」 ← 「意見や感想が語れるか」

見つからなかったら



- ・教科書で読んだ物語の作者が書いた別の物語
- ・自分が興味を持っているもの、こと(スポーツ、趣味など)
- ・課題図書

※青少年読書感想文全国コンクール課題図書は毎年ホームページで発表されます。



おすすめの本(一部紹介)

中学年

かあちゃん取扱説明書(童心社)
内科・オバケ科ホオズキ医院
オバケだってかぜをひく!(ポプラ社)

低学年

じゃんけんのすきな女の子(小学館)
しゅくだい大なわとび(PHP)

高学年

ノエル先生と幸せのクーポン(講談社)
トンネルの森(角川書店)

2.本を読もう

付箋とメモを使って構想をねる（読んですぐに書き始めない）

- ・どんなあらすじだった？
- ・どんなことを感じたか？
- ・心に残った場面はどこ？
- ・疑問に思ったところは？



ブック
コミュニケーション

本を読んだ感想について、家族や友達と話し合おう！

3.感想文を書く

- あらすじ
- 感想
- 書き出し
- まとめ



ポイント

「感想」の書き方

- ・なぜそう思ったか。
- ・どんな場面からそう思ったか
- ・自分だったら・・・自分と登場人物を比べてみる
- ・「なぜなら」・「たとえば」・「もしも」・「だから」を使う

・言葉の言い換え

（例）悲しかった→かわいそうでたまりませんでした。
とても切ない気持ちになりました。
心が痛みました。

涙が止まりませんでした 等

（例）面白かった→面白い本でした

愉快的な本でした

物語の世界にぐんぐん引き込まれました 等

（例）うれしかった→踊りだしたい気分になりました

ハッピーな気分になりました 等

感情表現の豊かさ

書く量を配分する

【目安】

書き出し・・・5行

あらすじ・・・10行

感想（心に残ったこと・・・10行

自分の体験など・・・25行）

まとめ・・・10行

まとめ

自分の体験や親子の会話をどんどん取り入れて感想文を完成させよう！

ブック
コミュニケーション



さらにレベルアップしたいときは

「私の読書」(山口県学校図書館協議会)を参考に！

受講者の皆様のご感想を一部ご紹介します

◇大人の感想◇

・親が子どもにしてあげられることがわかったので、これからもアプローチしていったり、見守ったりしていこうと思いました。

後半は、読書感想文について、書くコツを、例をたくさんあげて、子どもにも分かりやすく説明してくださって感想文への苦手意識が薄れたのではないかなと思います。

・普段はほとんど本を読まないのですが、講座を聞いて本を読みたい気持ちが強くなりました。子どもに読みなさい、というだけでなく、家族で本を通してコミュニケーションを図っていきたいと思います。

・読み聞かせが大切という話はよく耳にするところでしたが、発達段階に沿って親に出来ることがあると知れて、大変勉強になりました。親子で楽しく読書に取り組んでいきたいと思います。

・感想文の参考になりました。私が子どもの時に聞きたかったなと思いました。読みたい本がたくさんありました。

子育てに追われ、自分自身が読書する機会がなかなかありませんでしたが、子どもだけでなく、大人にもおススメの本を教えてください参考になりました。

子どもにばかりスマホでなく読書しなさい！！と言っておりましたが、大人も読書を楽しんでいる姿を見せると、子どもも自然と本を読みたくなるのかなあと強く思いました。

◇子どもの感想◇

・エプロンシアターが楽しかった。絵本を読もうと思った。

・本を書くコツは自分が読みたい！書きたい！と思った本がいいと思いました。ただ本を読むだけでなくそのあとに話してイメージをふくらませることが大切だと思った。

・話を聞いて本の深みが感じられました。これからも親子で積極的に本を読んでいきたいです。

・書き方を教えてもらって読書感想文を書くのに少し自信が持てました。

・読書にすごく興味を持ちました。

先生の話を生かして、いい読書感想文を書きたいです。